

(別添3) 臨床工学技士における各追加予定行為に関連する臨床実習に係る意向調査

設問と回答について

【設問A】 臨床工学技士養成所の学生に対する病院実習について、貴院における実施状況について、お答えください。

選択肢：学生に実施させている 学生に見学させている 当該業務を実施しているが学生に実習させていない 当該業務を実施していない

【設問B】 併せて、学生が当該行為の修得目標を達成するために必要となる実施や見学の時間について、「時間の単位」でお答えください。 ※30分=0.5、60分=1、180分=3

★が「ある」業務について

★は、医師の働き方改革に伴うタスク・シフト/シェアに向けて、法令改正により臨床工学技士に対して業務範囲の追加が検討されているものです。

		A. 呼吸治療	【設問A】 貴院における 実習の状況	【設問B】 目標修得の 時間数	B. 人工心肺	【設問A】 貴院における 実習の状況	【設問B】 目標修得の 時間数	C. 補助循環	【設問A】 貴院における 実習の状況	【設問B】 目標修得の 時間数
修得目標		○人工呼吸等の適応となる疾患等について理解できる。 ○人工呼吸器等の原理、操作および保守点検について理解できる。 ○気管吸引の手法について理解できる。			○人工心肺装置を用いる手術について理解できる。 ○人工心肺装置の原理、操作および保守点検について理解できる。			○ECMO、IABP等の適応となる疾患等について理解できる。 ○ECMO、IABP等の補助循環装置の原理、操作および保守点検について理解できる。		
	静脈路の確保	★A-10 人工呼吸装置を使用して行う治療における当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続するための静脈路の確保及び接続 ★A-11 人工呼吸装置を使用して行う治療における輸液ポンプやシリンジポンプを用いる薬剤（手術室等で使用する薬剤に限る）の投与 ★A-12 人工呼吸装置を使用して行う治療における当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続された静脈路の抜針及び止血			★B-9 人工心肺装置を使用して行う治療における当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続するための静脈路の確保及び接続 ★B-10 人工心肺装置を使用して行う治療における輸液ポンプやシリンジポンプを用いる薬剤（手術室等で使用する薬剤に限る）の投与 ★B-11 人工心肺装置を使用して行う治療における当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続された静脈路の抜針及び止血			★C-9 補助循環装置を使用して行う治療における当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続するための静脈路の確保及び接続 ★C-10 補助循環装置を使用して行う治療における輸液ポンプやシリンジポンプを用いる薬剤（手術室等で使用する薬剤に限る）の投与 ★C-11 補助循環装置を使用して行う治療における当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続された静脈路の抜針及び止血		

		D. 血液浄化	【設問A】 貴院における 実習の状況	【設問B】 目標修得の 時間数	E. 高気圧酸素治療	【設問A】 貴院における 実習の状況	【設問B】 目標修得の 時間数	F. ベースメーカ	【設問A】 貴院における 実習の状況	【設問B】 目標修得の 時間数
修得目標		○血液透析、アフレシス等の適応となる疾患等について理解できる。 ○血液透析、アフレシス等の血液浄化装置の原理、操作および保守点検について理解できる。 ○バスキュラーアクセスの穿刺の際に必要な清潔操作及び手法について理解できる。			○高気圧酸素治療の適応となる疾患等について理解できる。 ○高気圧酸素装置の原理、操作および保守点検について理解できる。			○体外式ベースメーカ、植込み型不整脈デバイス（IPG、ICD、CRT-P、CRT-Dを含む等）を用いる治療の適応となる疾患等について理解できる。 ○体外式ベースメーカ、植込み型不整脈デバイス（IPG、ICD、CRT-P、CRT-Dを含む等）の原理、操作および保守点検について理解できる。 ○清潔野において医師へ医療機器等を手渡す際に必要となる清潔操作について理解できる。		
治療開始 ～終了	身体への接続 ・装着、除去	★D-5 血液浄化装置の先端部（穿刺針）の動脈表在化への穿刺及び抜去、止血 ★D-6 血液浄化装置の先端部（穿刺針）の静脈への穿刺及びの抜去、止血								
	静脈路の確保	★D-12 血液浄化装置を使用して行う治療における当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続するための静脈路の確保及び接続 ★D-13 血液浄化装置を使用して行う治療における輸液ポンプやシリンジポンプを用いる薬剤（手術室等で使用する薬剤に限る）の投与 ★D-14 血液浄化装置を使用して行う治療における当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続された静脈路の抜針及び止血			★E-6 高気圧酸素治療装置を使用して行う治療における当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続するための静脈路の確保及び接続 ★E-7 高気圧酸素治療装置を使用して行う治療における輸液ポンプやシリンジポンプを用いる薬剤（手術室等で使用する薬剤に限る）の投与 ★E-8 高気圧酸素治療装置を使用して行う治療における当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続された静脈路の抜針及び止血			★F-9 ベースメーカ等を使用して行う治療における当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続するための静脈路の確保及び接続 ★F-10 ベースメーカ等を使用して行う治療における輸液ポンプやシリンジポンプを用いる薬剤（手術室等で使用する薬剤に限る）の投与 ★F-11 ベースメーカ等を使用して行う治療における当該装置や輸液ポンプ・シリンジポンプに接続された静脈路の抜針及び止血		

		G. 集中治療	【設問A】 貴院における 実習の状況	【設問B】 目標修得の 時間数	I. 鏡視下手術における視野確保	【設問A】 貴院における 実習の状況	【設問B】 目標修得の 時間数	J. 心・血管カテーテル治療	【設問A】 貴院における 実習の状況	【設問B】 目標修得の 時間数
修得目標		○集中治療の適応となる疾患等について理解できる。 ○集中治療に用いる生命維持管理装置（人工呼吸器、補助循環装置、血液浄化装置等）の原理、装置の操作および保守点検について理解できる。			○鏡視下手術の適応となる疾患や術式について理解できる。 ○鏡視下手術に用いる内視鏡手術システムの原理、操作および保守点検について理解できる。 ○鏡視下手術における視野確保の際に必要な清潔操作及び手技について理解できる。			○心・血管カテーテル治療の適応となる疾患等について理解できる。 ○カテーテル関連機器の原理、操作や保守点検について理解できる。 ○清潔分野において医師へ医療機器等を手渡す際に必要となる手技について理解できる。		
治療開始前	指示受け				I-1 術式及び使用する内視鏡手術システム等の指示書等の確認			J-1 治療等の内容、使用するカテーテル関連機器及び操作に必要な薬剤等の指示書等の確認		
	準備				I-2 内視鏡手術システム及び治療材料等の準備			J-2 併用する生命維持管理装置の操作に必要な薬剤、運転・監視条件の指示書等の確認		
	組立て等 ・始業点 検				I-3 内視鏡手術システムの組立て、始業点検			J-3 カテーテル関連機器、治療材料及び薬剤等の準備		
	治療開始 ～終了	身体への接続 ・装着、除 去						J-4 カテーテル関連機器の組立て、始業点検		
	機器の受渡し							J-5 カテーテル関連機器の先端部（接続用部分）の体表やあらかじめ身体に設置されたカニューレ等への接続又は除去		
	装置の設定				I-4 内視鏡手術システムの運転条件の設定及び変更			J-6 清潔野における機器、カテーテルやガイドワイヤ等の医師への受渡し、機器との接続		
	静脈路の確保	★G-8 生命維持管理装置を使用し て行う治療における当該装置や輸液 ポンプ・シリンジポンプに接続するた めの静脈路の確保及び接続 ★G-9 生命維持管理装置を使用し て行う治療における輸液ポンプやシリ ンジポンプを用いる薬剤（手術室等で 使用する薬剤に限る）の投与 ★G-10 生命維持管理装置を使用 して行う治療における当該装置や輸 液ポンプ・シリンジポンプに接続され た静脈路の抜針及び止血								
	他				★I-5 視野確保のための内視鏡用 ビデオカメラの保持・操作			★J-8 身体に電氣的負荷を与える ための当該負荷装置の操作		
	患者の観察				I-6 内視鏡手術システムの操作に必 要な監視機器を用いた患者観察等			J-7 カテーテル関連機器の運転条件 の設定及び変更		
治療終了後	終業点検・他				I-7 内視鏡手術システムの終業点 検、消毒及び洗浄等			J-9 カテーテル関連機器の操作に必 要な監視機器を用いた患者観察等		
	報告				I-8 医師への必要事項の報告			J-10 カテーテル関連機器の終業点 検、消毒及び洗浄等		
								J-11 医師への必要事項の報告		